CORPORATE OVERVIEW 2021

武田薬品工業株式会社 会社概要 2021

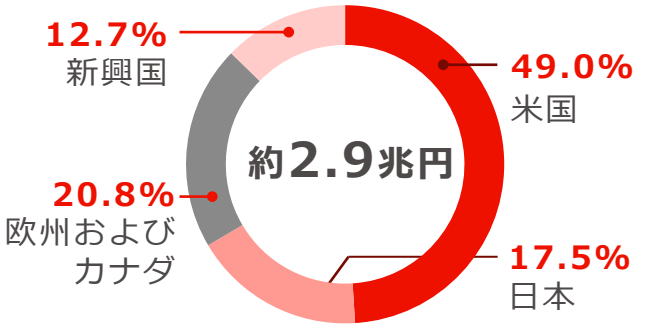
Better Health, Brighter Future

サイエンスに基づき患者さんを中心に研究開発を行う
バリュー（価値観）を根幹としたグローバルなバイオ医薬品企業

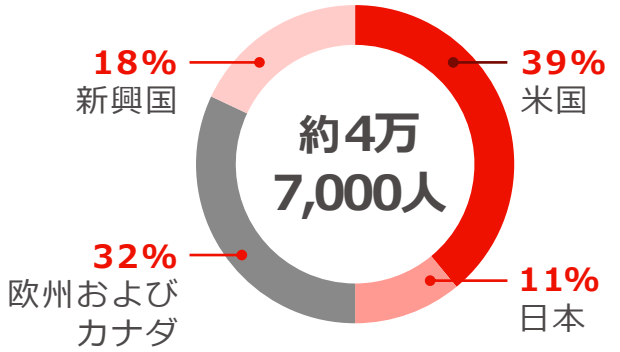
31
製造拠点

3
研究所

2020年度売上収益



従業員



2021年6月時点

Top Employers®認定
38 の国・4地域
2021年1月末時点

グローバル拠点
約80 の国・地域
2021年3月時点

研究開発費
約4,500～5,000億円
2021年度見込み

タケダの企業理念

私たちの存在意義　世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する

私たちが目指す未来　すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、
いのちを育む地球のために。
私たちはこの約束を胸に、革新的な医薬品を創出し続けます。

私たちの価値観：タケダイズム

タケダイズムとは、まず誠実であること。それは公正・正直・不屈の精神で支えられた、私たちが大切にしている価値観です。
私たちはこれを道しるべとしながら、「1. 患者さんに寄り添い (Patient) 2. 人々と信頼関係を築き (Trust) 3. 社会的評価を向上させ (Reputation) 4. 事業を発展させる (Business)」を日々の行動指針とします。

私たちの約束

PATIENT
すべての患者さんのために

- 私たちは、倫理観をもってサイエンスの革新性を追求します。そして、人々の暮らしを豊かにする医薬品の創出に取り組みます。
- 私たちの医薬品を、より多くの人々に迅速にお届けします。

PEOPLE
ともに働く仲間のために

- 私たちは、理想的な働き方を実現します。

PLANET
いのちを育む地球のために

- 私たちは、自然環境の保全に寄与します。

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします

- データを活用して導き出された成果をもとに、もっとも信頼されるバイオ医薬品企業として、これからも変革し続けます。

HOW CAN WE DO **MORE** FOR **OUR PATIENTS?**

患者さんのために
これまで以上に何ができるか？

01
HERITAGE
伝統

02
GOVERNANCE
ガバナンス

03
INNOVATION
革新性

04
PURPOSE-LED
SUSTAINABILITY
サステナビリティ

タケダの創業の地である大阪・道修町は、江戸時代には日本の薬種取引の中心地となっていました。現在も数々の製薬企業が本社や拠点を置く「くすりのまち」として知られています

01

HERITAGE
伝統

患者さんを我が子のように思い、
誠実に仕事に取り組んでいくこと

タケダの歴史 1781年～1979年

FOR BUSINESS

1781
COMPANY FOUNDED
初代近江屋長兵衛が大阪で薬種仲買商を始め、高品質の薬を提供

1871
INTERNATIONAL TRADE
洋薬（西洋医薬品）の輸入を開始

1895
PRODUCTION
自社工場で製薬事業を開始

1914
PROPRIETARY RESEARCH
研究部を設立
自社で研究活動を開始

1915
OSAKA FACTORY
大阪工場の前身である武田製薬所を開設

1940
“NORI” PRINCIPLES
タケダイズムの礎となる「規（のり）」を制定

1943
COMPANY NAME
社名を現在の武田薬品工業に変更

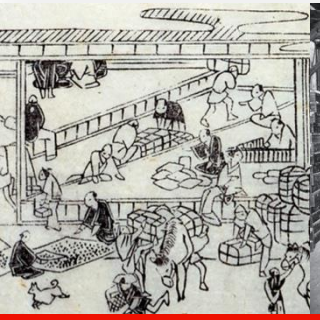
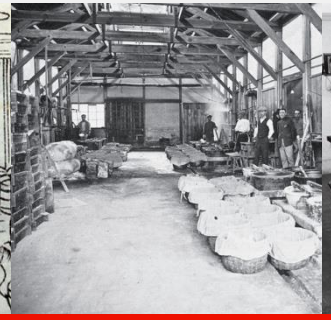
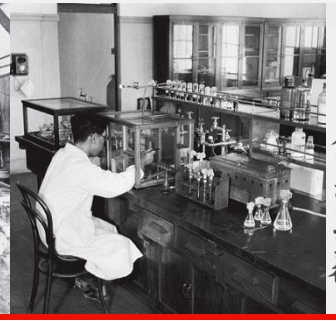
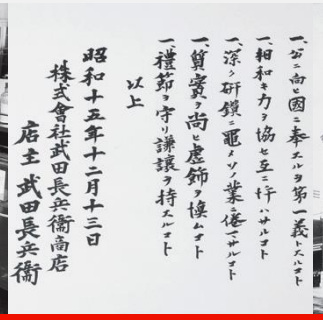
1946
HIKARI FACTORY
山口県 光工場を開設

1949
INITIAL PUBLIC OFFERING
株式を上場
株式公開企業に

1950s
PANVITAN® & ALINAMIN®
日本初の総合ビタミン剤およびビタミンB1誘導体製剤を発売

1951
INTERNATIONAL BUSINESS
北中米、アジアを皮切りに海外市場に本格参入

1961
COMPANY LOGO
輸出向け商標として「抱き山タケダ」を使用開始





昭和十五年十二月十三日
株式會社武田長兵衛商店
店主 武田長兵衛
以上

FOR SOCIETY

1933
TAKEDA HERBAL GARDEN
「京都薬用植物園」を開設し世界各地の薬用・有用植物を収集・活用

1960
SHOSHISHA FOUNDATION
優秀な学生を支援し将来の社会に貢献できるよう、育英事業を目的とする「尚志社」を 設立

1963
TAKEDA SCIENCE FOUNDATION
有望な研究および科学技術の助成振興のため「武田科学振興財団」を設立

タケダの歴史 1980年～現在

FOR BUSINESS

1980s & 90s
EXPANSION OF INTERNATIONAL BUSINESS
4つの国際戦略製品
「リュープロレリン」、
「ランソプラゾール」、
「カンデサルタン」、
「ピオグリタゾン」により
グローバル事業の拡大が加速

2011
NYCOMED AQUISITION
新興国に強い販路を持つ
ナイコメッド社を統合し、
事業基盤を70カ国以上に拡大

2015
IXAZOMIB
多発性骨髄腫治療薬
「イキサゾミブ」米国で発売

2008
MILLENNIUM PHARMACEUTICALS
米国のバイオベンチャーで
あるミレニアム社を買収
し、がん領域を強化

2014
VEDOLIZUMAB
潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬
「ベドリズマブ」を米国および
欧州で発売

2018
NEW YORK STOCK EXCHANGE LISTING
ニューヨーク株式市場への上場により、
ニューヨーク証券取引所と東京証券取引所の
双方に上場されている唯一の医薬品企業に

SHONAN HEALTH INNOVATION PARK
湘南にヘルスイノベーションを加速する
iPark をグランドオープン

TAKEDA GLOBAL HEADQUARTERS
武田グローバル本社をグランドオープン、
多様性に富む従業員がオープンにつながり、
ともにイノベーションに取り組む拠点へ

2019
SHIRE ACQUISITION
シャイアー社の買収により、
事業拠点は約80の国・地域に
拡大し、グローバルな研究
開発型バイオ医薬品の
リーディングカンパニーへ

FOR SOCIETY

2009
UNITED NATIONS GLOBAL COMPACT
「国連グローバル・
コンパクト」に参加

2010
TAKEDA INITIATIVE
アフリカの保健医療人材の育
成を支援する
「タケダ・イニシアティブ」
を開始

2016
ACCESS TO MEDICINES
医薬品アクセスに関する取り組みを
開発国を中心に開始

GLOBAL CSR PROGRAM
疾病予防に重点を置いた支援活動
「グローバルCSRプログラム」を開始

2019
TAKEDA INITIATIVE 2
母子を対象にHIV・結核・マラリアの
対策を支援する
「タケダ・イニシアティブ２」を開始

強力で迅速なコーポレートガバナンスを基盤に、従業員が能力を十分に発揮して先進的な発見を追い求め、患者さんやステークホルダーのニーズに対応することができます。

02

GOVERNANCE
ガバナンス

事業発展の基盤となる
強力で迅速なガバナンス

タケダ・エグゼクティブ・チーム

国籍・年齢・性別において多様性に富み、それぞれの領域において豊富な経験を持つタケダ・エグゼクティブ・チームが、
迅速で透明性の高い意思決定を行っています。

日本

クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO

コスタ・サルウコス
取締役、チーフ フィナンシャル オフィサー

岩﨑 真人
代表取締役
日本管掌

古田 未来乃
ジャパンファーマ ビジネスユニット プレジデント

中川 仁敬
グローバル ジェネラル カウンセル

大薮 貴子
チーフ グローバル コーポレート アフェアーズ オフィサー

佐藤 弘毅
コーポレートストラテジー オフィサー & チーフ オブ スタッフ

米国

アンドリュー・プランプ
取締役、リサーチ＆デベロップメント プレジデント

マルチェロ・アゴスティ
グローバル ビジネスデベロップメント オフィサー

テレサ・ビテッティ
グローバルオンコロジー ビジネスユニット プレジデント

ローレン・デュプレイ
チーフ HR オフィサー

ジェラード・グレコ
グローバル クオリティ オフィサー

ジュリー・キム
プラズマ デライブド セラピーズ ビジネスユニット プレジデント

ラモナ・セケイラ
U.S. ビジネスユニット プレジデント & グローバル ポートフォリオ コマーシャライゼーション プレジデント

ラジーヴ・ヴェンカヤ
グローバル ワクチン ビジネスユニット プレジデント

スイス

ジャイルズ・プラットフォード
EUCAN ビジネスユニット プレジデント

ムワナ・ルゴゴ
チーフ エシックス＆コンプライアンス オフィサー

トーマス・ウォスニフスキー
グローバル マニュファクチャリング& サプライ オフィサー

シンガポール

リカルド・マレック
グロース＆エマージング マーケッツビジネスユニット プレジデント

取締役体制

タケダはベスト・イン・クラスのガバナンスを有しています。16名の取締役は様々な分野におけるグローバルでの経験を持ち、
うち12名は社外取締役です。

社内取締役

クリストフ・ウェバー

代表取締役社長
チーフ エグゼクティブ
オフィサー

岩﨑 真人

代表取締役
日本管掌

アンドリュー・プランプ

取締役、リサーチ&
デベロップメント プレジデント

コスタ・サルウコス

取締役、チーフ
フィナンシャル オフィサー

CB 取締役会議長　　A&SC 監査等委員会

NC 指名委員会[2]　　CC 報酬委員会

独立社外取締役[1]

坂根 正弘

独立社外取締役
取締役会議長
指名委員会委員長

オリビエ・ボユオン

独立社外取締役

ジャン=リュック・ブテル

独立社外取締役

イアン・クラーク

独立社外取締役

藤森 義明

独立社外取締役

スティーブン・ギリス

独立社外取締役

国谷 史朗

独立社外取締役

志賀 俊之

独立社外取締役

初川 浩司

独立社外取締役
監査等委員長

東 恵美子

独立社外取締役
報酬委員会委員長

ミシェル・オーシンガー

独立社外取締役

飯島 彰己

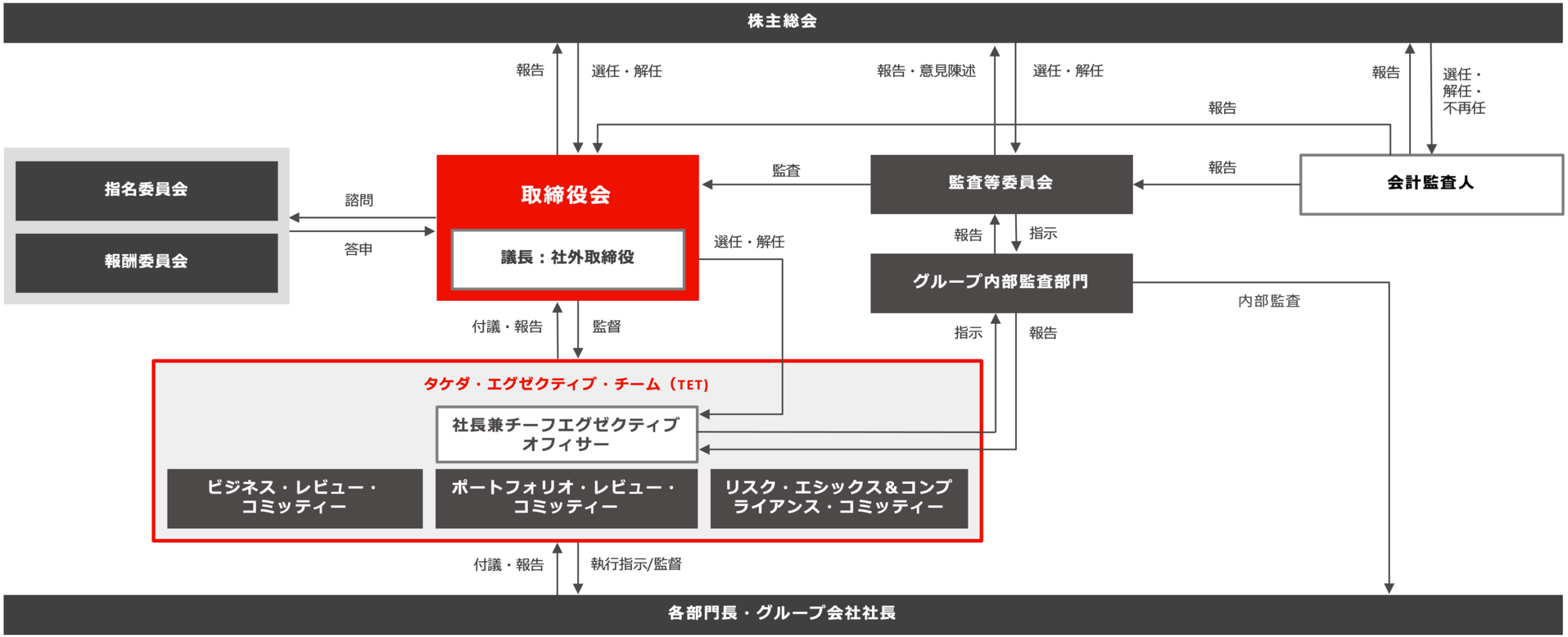
独立社外取締役

1. 東京証券取引所等の当社が上場している金融商品取引所の独立役員の要件を満たしています　2. クリストフ・ウェバーがオブザーバーとして参加

コーポレート・ガバナンス体制

先進的かつ強固なコーポレートガバナンスモデルは、これまでも、これからも、タケダが成功する上で極めて重要です。

模式図



グローバル組織体制

機動的でシンプルな組織により、各分野のリーダーが自ら判断し、患者さんのニーズに最も適した行動をとれるようになっています。

株主総会

指名委員会

報酬委員会

取締役会(BOD)

監査等委員会

監査等委員会室

President & CEO
代表取締役社長 CEO

クリストフ・ウェバー

グループ内部監査部門

グローバル ポートフォリオ コマーシャライゼーション &リージョナルビジネスユニット

U.S. ビジネスユニット & グローバル ポートフォリオ コマーシャライゼーション
プレジデント

ラモナ・セケイラ

ジャパンファーマ ビジネスユニット
プレジデント

古田 未来乃

EUCAN ビジネス ユニット
プレジデント

ジャイルズ・プラットフォード

グロース&エマージング マーケッツビジネス ユニット
プレジデント

リカルド・マレック

グローバルビジネスユニット

グローバル オンコロジー ビジネスユニット
プレジデント

テレサ・ビテッティ

プラズマ デライブド セラピーズ ビジネスユニット
プレジデント

ジュリー・キム

グローバル ワクチン ビジネスユニット
プレジデント

ラジーヴ・ヴェンカヤ

ビジネスファンクション

リサーチ& デベロップメント
プレジデント

アンドリュー ・プランプ

グローバル マニュファクチャリング &サプライ
GMSオフィサー

トーマス・ウォスニフスキー

グローバル クオリティ
GQオフィサー

ジェラード・グレコ

ビジネスパートナー

グローバル ファイナンス
チーフ フィナンシャル オフィサー

コスタ・サルウコス

日本管掌
代表取締役

岩﨑 真人

グローバル ビジネス デベロップメント
グローバル ビジネス デベロップメント オフィサー

マルチェロ・アゴスティ

グローバルHR
チーフ HR オフィサー

ローレン・デュプレイ

グローバル エシックス& コンプライアンス
チーフ エシックス &コンプライアンス オフィサー

ムワナ・ルゴゴ

グローバル ジェネラル カウンセル

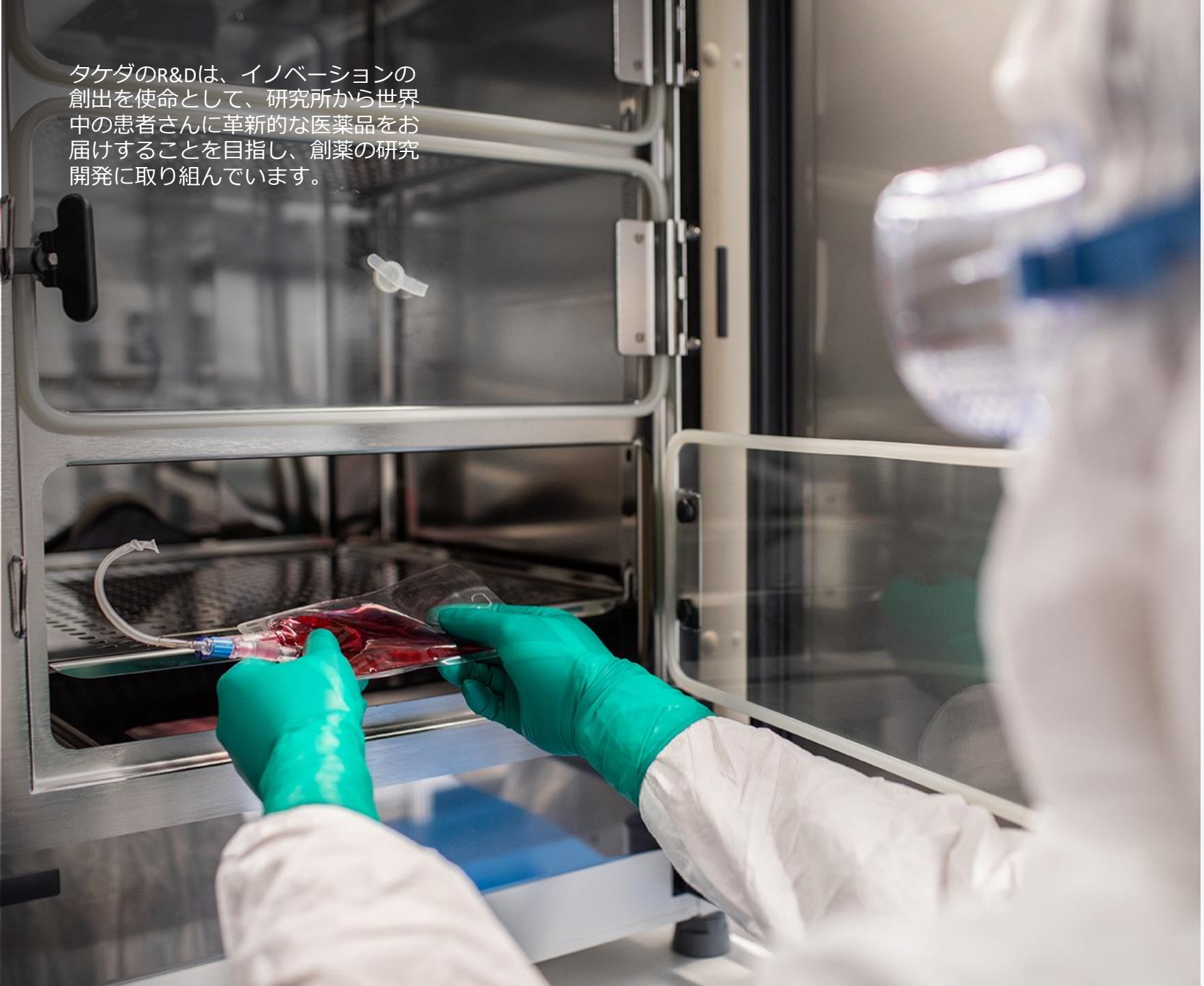
中川 仁敬

グローバル コーポレート アフェアーズ
チーフ グローバル コーポレート アフェアーズ オフィサー

大薮貴子

コーポレート ストラテジー
コーポレート ストラテジー オフィサー & チーフ オブ スタッフ

佐藤 弘毅



タケダのR&Dは、イノベーションの創出を使命として、研究所から世界中の患者さんに革新的な医薬品をお届けすることを目指し、創薬の研究開発に取り組んでいます。

03

INNOVATION
革新性

サイエンスから
人生を変えうる
高度に革新的な医薬品へ

研究開発の重点領域

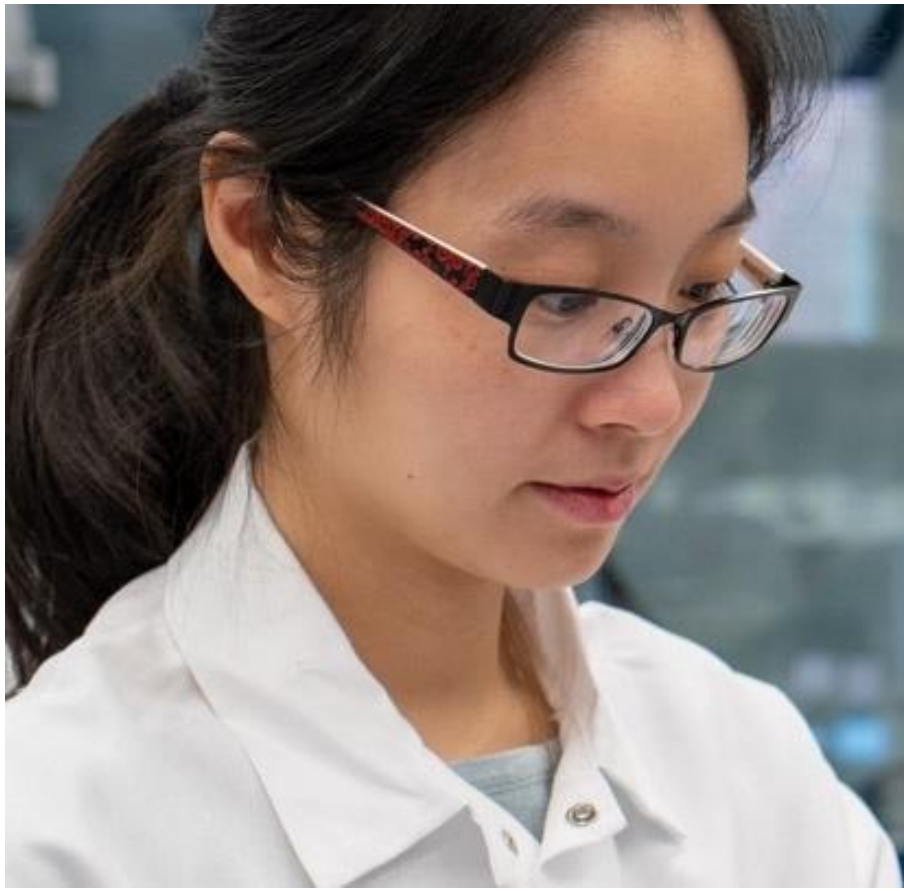
タケダの研究開発では、4つの疾患領域と2つの分野に注力し、常に患者さんを中心に考えるサイエンス・ファーストの取り組みを進めています。

革新的なバイオファーマ

- オンコロジー
- 希少遺伝子疾患および血液疾患
- ニューロサイエンス
- 消化器系疾患

- 血漿分画製剤
- ワクチン

- 細胞療法
- 遺伝子治療
- データサイエンス

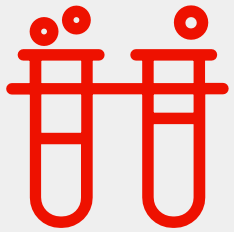


研究開発パイプラインの詳細を見る (TAKEDA.COM)

革新的なR&Dエンジンと先進的なパートナーシップモデル

高度化する医療に対応する研究開発能力のさらなる向上と同時に、
積極的なパートナーシップを通じて世界中の革新的な研究開発活動に参画しています。
患者さんのアンメットメディカルニーズが高い疾患に対象を絞り込み、高度に画期的で治癒をもたらしうる治療法の提供を目指します。

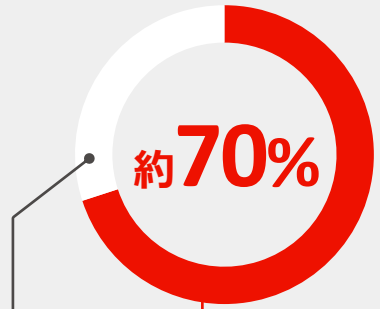
研究開発費



約4,500~5,000億円

2021年度見込み

多様なモダリティ（創薬手法）



低分子化合物

- 生物学的製剤
- 細胞療法・遺伝子治療
- 腸内細菌・その他代謝物
- ペプチド・オリゴヌクレオチド

積極的なパートナーシップ

200以上

新規作用機序を含む堅固なパイプライン

40+

臨床試験段階にある新規候補薬物

オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）指定を受けたパイプライン*

*2018年のオーファンドラッグ指定は15品目であったのに対し、2019年は31品目（Ph1~ライフサイクルマネジメント段階にある品目のうち、1適応症以上のオーファンドラッグ指定を受けたもの）

ビジネスポートフォリオ

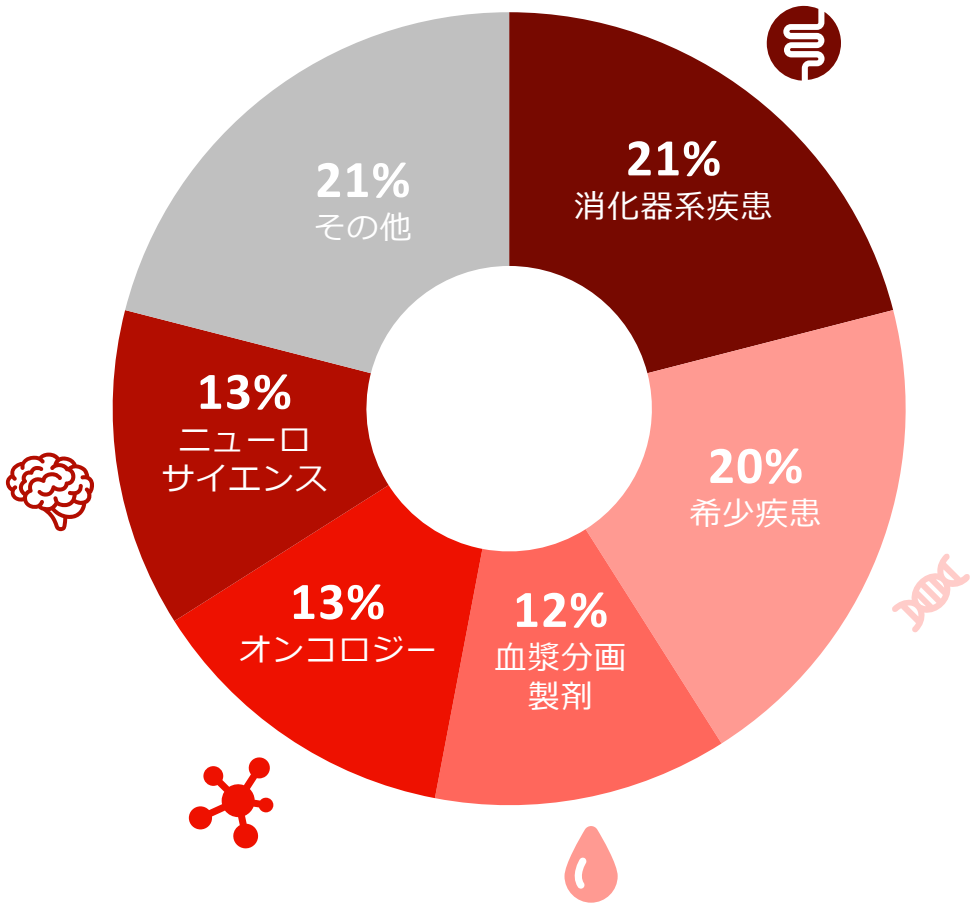
患者さんの生活を一変させうる革新的な医薬品が、
主要ビジネスエリアにバランスよく分散され、
タケダのさらなる成長を牽引しています。

5 主要ビジネス
エリア

14 グローバル
ブランド

約80% 売上収益に占める
主要ビジネスの割合

売上における比率*



*2019年4月～2020年3月の売上収益における比率

社会の課題や価値を提供する取り組みはすべて、
サステナビリティに対する考え方に基づいています。

04

PURPOSE-LED SUSTAINABILITY
サステナビリティ

私たちの存在意義を
果たすための
サステナビリティ戦略

私たちの存在意義を果たすためのサステナビリティ

タケダでは、先端技術を結集した「強み」と「能力」を活かした社会的価値の創造に取り組んでいます。人々から開発が待たれている医薬品の創出、持続可能な医療システムの確立、自然環境の保全、これらを通じて社会の重要な課題の解決に貢献するとともに、一人ひとりが自分の可能性を引き出し、おたがいの個性を認め合う、多様性にあふれた先進的な組織づくりを進めています。私たちは、自らの存在意義、目指す未来、価値観であるタケダイズムを企業理念とし、従業員一人ひとりの総力を結集しながら社会的価値の創造を目指すこのアプローチを「私たちの存在意義を果たすためのサステナビリティ戦略」と呼んでいます。

私たちの長期的なコミットメントは、持続可能な開発目標に沿ったものです

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

外部評価の実績

FTSE4Good

access to medicine FOUNDATION

MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In collaboration with SAM a RobecoSAM brand

2021 GLOBAL100

2020 MSCI ESG Leaders Indexes Constituent

MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

18

すべての患者さんのために
世界中の患者さんの医薬品へのアクセス向上をめざして

タケダの医薬品アクセス (AtM) プログラムでは、世界で医療サービスが十分でない地域で、希少疾患や複雑な疾患をもつ患者さんなど、多くの患者さんの生活が向上する取り組みを続けています。

治療プロセスにおけるすべての段階（疾患の認知、診断、治療、その後のサポート）において、さまざまなパートナーとともに持続可能性が高く対象を絞った方法をとることで、医療制度の強化に取り組みます。

「ブループリント」は、タケダの医薬品アクセスプログラムを代表する事例で、ケニアのメルー郡で試験的に実施された際には、約13,000人の患者さんを対象に、がん、糖尿病、高血圧のスクリーニング検査を46,000件以上実施しました。

110万人以上の患者さんのがん、高血圧、糖尿病のスクリーニングを医療機関でサポートしました。

4,000人以上の医療従事者およびコミュニティ・ヘルス・ワーカーが、より良い患者ケアを提供するためのトレーニングを受けました。

52の国と地域で、患者さんに焦点を当てたアクセスプログラムを実施しました。

2021年のAccess to Medicine Indexでは、総合第6位、さらに「医薬品アクセスに対するガバナンス (Governance of Access)」のカテゴリーにおいては首位を獲得。外部の高い評価をうけ業界をリードしています。

Access to Medicines Two-year Progress Report（英語のみ）の詳細を見る (TAKEDA.COM)

ともに働く仲間のために

タケダの従業員は、「世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する」という私たちの存在意義に共感して入社しました。この存在意義を実現し続けるため、今後も有能で多様な人材を惹きつけ、育て、成長させなければなりません。現在、世界約80カ国で働く当社従業員は、それぞれ目標を持って経験を積んでいます。タケダの目指す未来に向けて従業員が成長し成功するためには、健康と福祉へのコミットメントに根ざした、一体感のある、安全かつ活力を生み出す職場環境の整備が重要です。

top EMPLOYER GLOBAL 2021
CERTIFIED EXCELLENCE IN EMPLOYEE CONDITIONS

2021年、タケダは4年連続で「Global Top Employer」に選出されました。

いのちを育む地球のために

タケダは、気候変動の影響を軽減・防止するために意欲的にさまざまな活動を行っています。
温室効果ガスの排出量削減などの取り組みを通じて、2040年までにバリューチェーン全体で
カーボンニュートラルを達成することを目標として掲げています。

BY 2020

バリューチェーン全体での**カーボンニュートラル**の達成と維持

BY 2024

サプライヤーの67%が、科学的根拠に基づいた削減目標を設定

BY 2025

事業活動に起因する温室効果ガス排出量を2016年度比で**40%削減**

サプライヤーからの排出量を2018年度比で**15%削減**

BY 2040

事業活動に起因する温室効果ガスの排出量を**100%削減**

私たちの事業活動におけるカーボンゼロの実現を目指します。

サプライヤーからの排出量を2018年度比で**50%削減**

持続可能な未来に向けた戦略的な取り組み

グローバルCSRを通じて、疾病予防の飛躍的な進歩、想定外の事態に対処できる強固な医療システムの構築、そして誰もが等しく医療を受けられる環境を整えることで、人々が病気から解放される、より良い世界を築くことを目指しています。

タケダ・グローバルCSRプログラム

16

グローバルCSR プログラム

毎年、従業員による投票で プログラムを決定

123億円

2016年度から2020年度 までの合計寄付金額

グローバルCSRパートナー
多国籍でアカデミックな団体と協働

ASIAN UNIVERSITY FOR WOMEN

The Global Fund

LONDON SCHOOL of HYGIENE &TROPICAL MEDICINE

グローバルCSRプログラムの詳細を見る (TAKEDA.COM)

©City Cancer Challenge

©WFP/Jama Hassan

© John Rae/ UNOPS-Access to Health Fund

製品情報に関する注意事項

本会社案内には、武田薬品の製品についての情報が含まれていますがそれらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって 異なる商標、効能、用量などで販売されている場合もあります。また、本会社案内に記載されている医薬品(開発品を含む)の情報は、そのような製品を 宣伝・広告するものではありません。会社案内に記載されている製品に関する情報は、医学的アドバイスの提供を目的とするものではなく、決して、医師その他医療従事者によるアドバイスの代わりになるものではありません。

詳細はウェブサイトをご覧ください

www.takeda.com/jp

発行月: 2021年7月
発行元：グローバル コーポレート アフェアーズ

武田グローバル本社の空間デザインについて

クリエイティブディレクター佐藤可士和氏による空間デザインコンセプトは、人間の「life force：生きるカ」。このコンセプトは、8つの漢字を用いたアートワークにあらわされ、ビルのいたるところに配置されています。（所在地：東京都中央区日本橋）